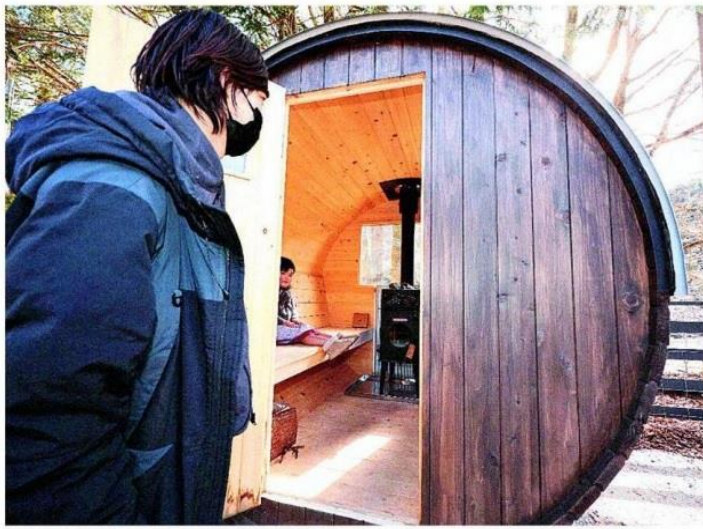


年 組 名前：



道志村内に展示されたバレルサウナ

＝道志村

県産材サウナ返礼品に

道志村、職人技術PR

道志村はふるさと納税の返礼品に、たる型の「バレルサウナ」を加えた。県産のヒノキを使って村の職人がサウナの木材を加工。担当者は「事業者の販路拡大や、村の職人の技術PRにつなげたい」と話している。

〈深沢澤〉

サウナは村内で不動産業や貸別荘を運営するハッピーコーポレーション（吉田拓生社長）がサウナブームを受けて企画し、昨年1月から販売を開始。すでにキャンプ場の運営者や別荘の所有者らに60基ほどを納品している。

フィンランドで主流となっているたる型で、室内で熱がよく循環するという。県産のヒノキを使用していて、縦、横、奥行きとも約2メートル。収容人数は最大4人で住宅の庭にも設置できる。

対象の納税額は400万円。

(2023年1月18日付 山梨日日新聞 19面)

問1

道志村が、ふるさと納税の返礼品としたサウナは、
だれが木材を加工していますか。

円。それ未満の所定の金額から選ぶことも可能で、その場合は村から割引券を受け取り、ハッピーコーポレーションから直接購入する。申し込みは、村が指定するふるさと納税用のポータルサイトで受け付ける。納税後、材料一式が送付され、納税者は工務店などを通じて組み立てる。木材を加工する事業者がある韮崎市も返礼品として扱っている。

村ふるさと振興課の担当者は「製造を手がける職人の技術を感じるとともに、サウナの熱と県産材のぬくもりを楽しんでほしい」と話していた。

問2 返礼品サウナの説明文です。①から⑤に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『①で主流となっている②型で、室内で③がよく循環する。県産の④を使用していて、縦、横、奥行きとも約⑤メートル。収容人数は最大4人で住宅の⑥にも設置できる。』

①..... ②..... ③..... ④..... ⑤..... ⑥.....

問3 記事のサウナが対象の納税額を答えてください。

.....